

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学） 月例報告書（2月）

留学先：東亜大学校

氏名：福島亜矢子

【はじめに】

1月下旬、ついに韓国にも旧正月（ソルラル）連休が訪れました！日本人としては年末年始の連休が当たり前になっているので、この連休までが長く感じました。今月はいよいよ帰国です。今月の報告書では最後の期末試験・修了式に関して、語学堂のイベントについて報告したいと思います。

【最後の期末試験・修了式】

2月8・9日に最後の期末試験が行われました。中間試験後の授業を受ける中で、生活上で用いる頻度の低い単語がこれまで以上に増えてきたという印象を受け、期末試験に向けて語彙の復習は重要課題であると考えていました。そこで今回は試験に向けて語彙の復習をメインに行いました。また、先月の報告書でも述べたように、リーディングの難易度が高くなったこともあったため、試験前にはリーディングの問題を多く解き、慣れておくようにもしました。これらの対策が功を奏したのかは分かりませんが、語彙文法・リーディング共に良い点数を取ることができました。

そして、2月10日に行われた修了式では、皆勤模範賞を頂くことができました。期末試験を終えてから少し難しかったという印象を受けていたので、正直、皆勤模範賞を頂けるとは思っていませんでした。しかし、最後の学期かつ4学期に渡って賞を頂けたことを大変嬉しく思います。

また、修了式では各クラスの代表が学期を終えての所感を発表するのですが、今学期が最後の私はドイツ人の友人と共に発表をすることになりました。最後は楽しく終わろう！と考えていたので、2人で明るく楽しく発表を終えたのですが、その後の高級クラスの発表で感極まって泣いてしまい、そこからは涙が止まらなくなってしまいました。修了式後に成績をもらい、これまで担任をして下さった先生方にプレゼントと手紙を渡す際も「本当に最後なんだ」という実感が湧いてきて、泣きっぱなしになってしまいました。それほど語学堂での授業が自分の中で大きな位置づけになっていたのだと改めて感じました。



【韓国語 ゴールデンベル】

毎学期語学堂ではイベントがありますが、今学期は韓国や韓国語に関するクイズ大会でした。初級の学生と中級以上の学生が2人1組でペアを組み、クイズに挑みます。クイズ大会では1位から3位になると賞金を獲得できるので、学生も必死に挑んでいました。学生の数が多いため、周辺には先生方が居て、解答のチェックを厳正に行います。不正解になると後部へ移動しなければならないのですが、敗者復活の問題もあります。クイズでは問題を見て解答するものだけでなく、童謡を聞いて答えるものもあり、初級の学生も解けるようになっていました。(後半は中級レベルの問題になっていきます) 私たちのペアは不正解者を続出させた問題でも生き残り、これは賞金がもらえるかも…!とっていたのですが、後半で間違えてしまい、賞金獲得とはなりませんでしたが…。しかし、初対面の学生と楽しくクイズを解くことができ、とても楽しかったです。

【全羅北道へ!】

釜山は韓国の南に位置し、比較的暖かいため、雪が降ることはめったにありません。そこで、語学堂主催の雪を見に行くツアーが行われました。このツアーは日帰りで行く全羅北道にあるスキーリゾートに行き、ケーブルカーに乗って山のほうまで行ってみたい、そり滑りを体験してみたいというものです。福井で毎シーズン雪を見ているので、当初は行かなくてもいいかな…と考えていたのですが、帰国まで1ヶ月となり、釜山以外の地域へ行く機会も少なかったため、このツアーに参加しました。

学生の中には生まれて初めて雪を見たという学生も多く、みんなが楽しそうにそり滑りや雪合戦をしている様子を見て、雪国出身の私にはその様子が新鮮でした。



【おわりに】

1年間の留学生活は本当にあっという間でした。初級1から始まった語学堂も中級2を修了することができ、韓国語の習得を第一の目的としていた私にとっては大きな収穫となりました。

ました。また、韓国での生活は日本との文化の違いで戸惑うこともありましたが、友人や語学堂の先生方に助けられ、過ごすことができたと感じています。今後は日本へ戻り、修了論文・演奏や教員採用試験に向けて励んでいくわけですが、韓国での経験は必ず活かすだろうと思っています。また、韓国語のレベルアップに向けても頑張っていきたいと思えます。

1年間報告書をご覧くださいありがとうございました。